

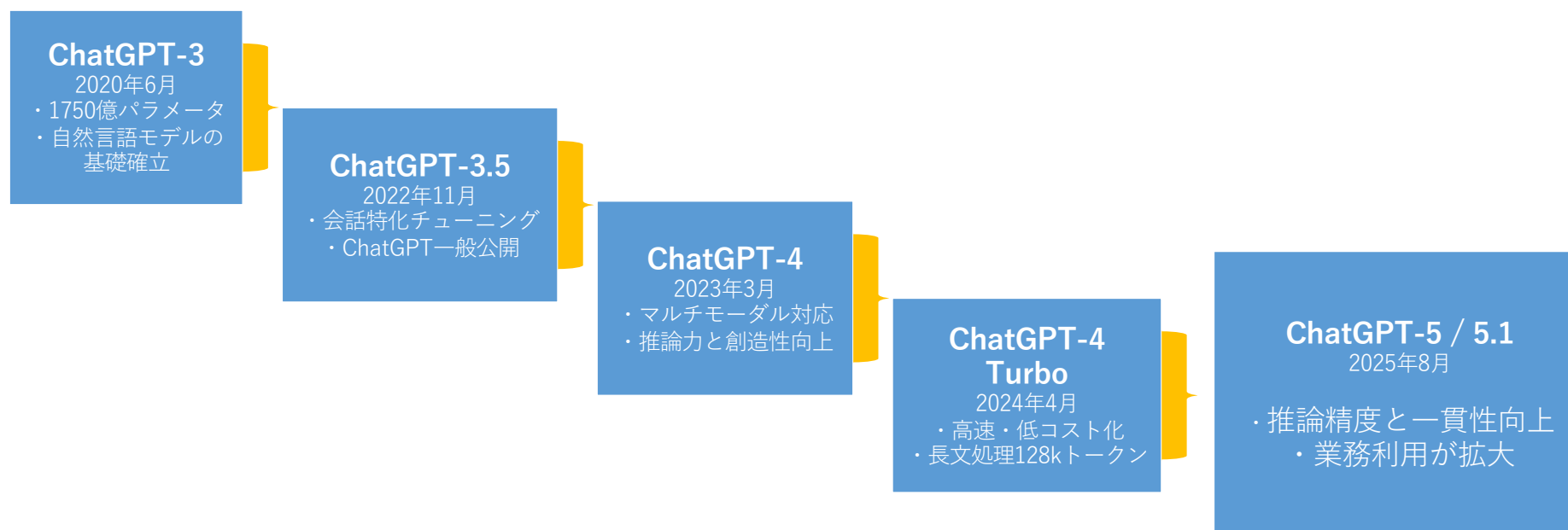


国内470社の業務システムに採用されています

AIと伴走するWagby AIに委託するWagby

株式会社ジャスミンソフト
賛 良則

Chat GPT を振り返る



AIによるコード生成への期待

仕様の作成

概要→データモデル/機能/UI/テスト提案

非機能要件（性能/可用性/監査/バックアップ）

セキュリティ要件と権限モデル

API仕様（OpenAPI）とユースケース

スプリント分割、要求→テストのトレーサビリティ

コード生成

仕様準拠のソース/プロジェクト雛形/依存管理

DBマイグレーション（Flyway等）/シードデータ

CRUD/業務サービス/DAO・SQL/DTO・Mapper/Validation

コントローラ/エラーハンドリング/ログ・監査

UI（画面/フォーム）/i18n/アクセシビリティ下地

CI設定、Docker/K8s、IaC（Terraform等）

テスト

単体/統合

E2E（UI自動化）/モック・サービス仮想化

性能/負荷/回帰/スナップショット/カナリア

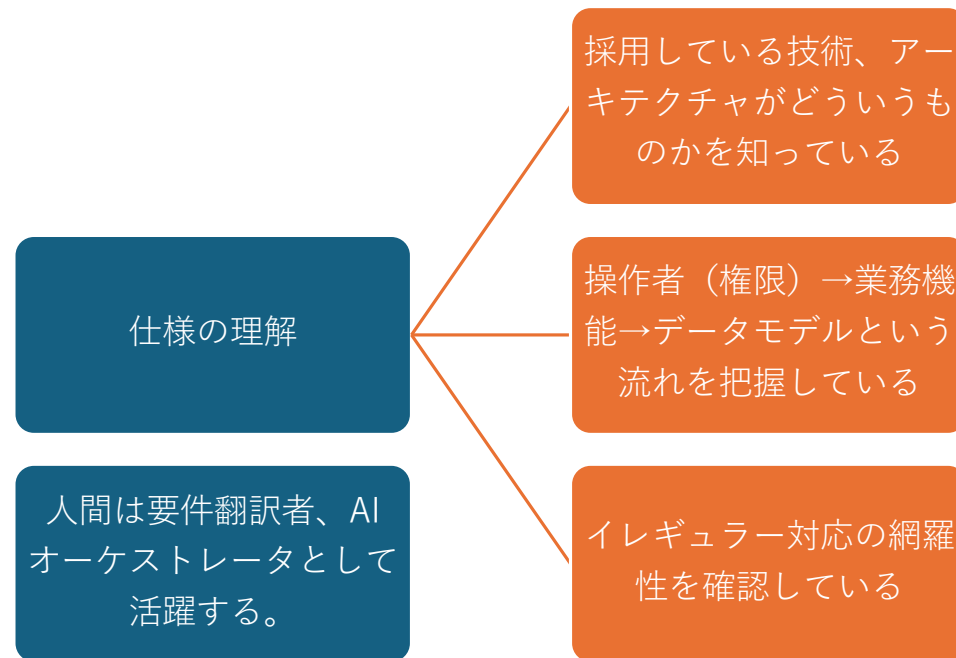
テストデータ自動生成/合成監視/アラート

留意すべき点

仕様の曖昧さは、
幻覚/漏れの温床
となる。

機密/ライセンス、
ガバナンスへの
配慮。

人間の関わり



AIが変えるシステム開発の未来

UIの再定義

複雑な操作型UIの多くが対話I/F
へ

テキスト/音声で直接データへア
クセス

可視化UIは引き続き重要

分析の自動化

定型クエリはAIが自動生成

自然言語で動的にSQLを組立

グラフや洞察を即座に提示

データ連携

AIがスキーマ変換や整合を自動
処理

統合DB化が進展

データ連携ツールの役割の見直
し

Wagby の位置付け

自動生成ツールから上流設計ツールへ

WagbyDesignerが上流設計ツールとして強化される

- AIと連携する「AIエージェント」機能を搭載する。
- 大規模な設計情報を人間が俯瞰できる工夫が求められる。

説明文とAIによるコード生成の中間成果物をもつ

- ただ一つの正しい設計情報として管理する。

人間によるコード修正をできるだけ行わない

- AIによるコード生成にシフト。
- 一部のテンプレートコードはルールベース生成を残すこともあり。

Wagbyの再編

SE

- ノーコード版(クラウド)Wagbyをベースにする。
- インストール版として提供。(※)

EE

- ローコード版Wagbyの継続。
- AIによる新機能よりも安定性を重視する。

AI

- まったく新しいWagbyとしてリリース。
- 従来との互換性なし。AIによるコード生成。

※ 従来のクラウド版Wagbyは価格を改訂し、新サービスとしてリニューアルする予定。

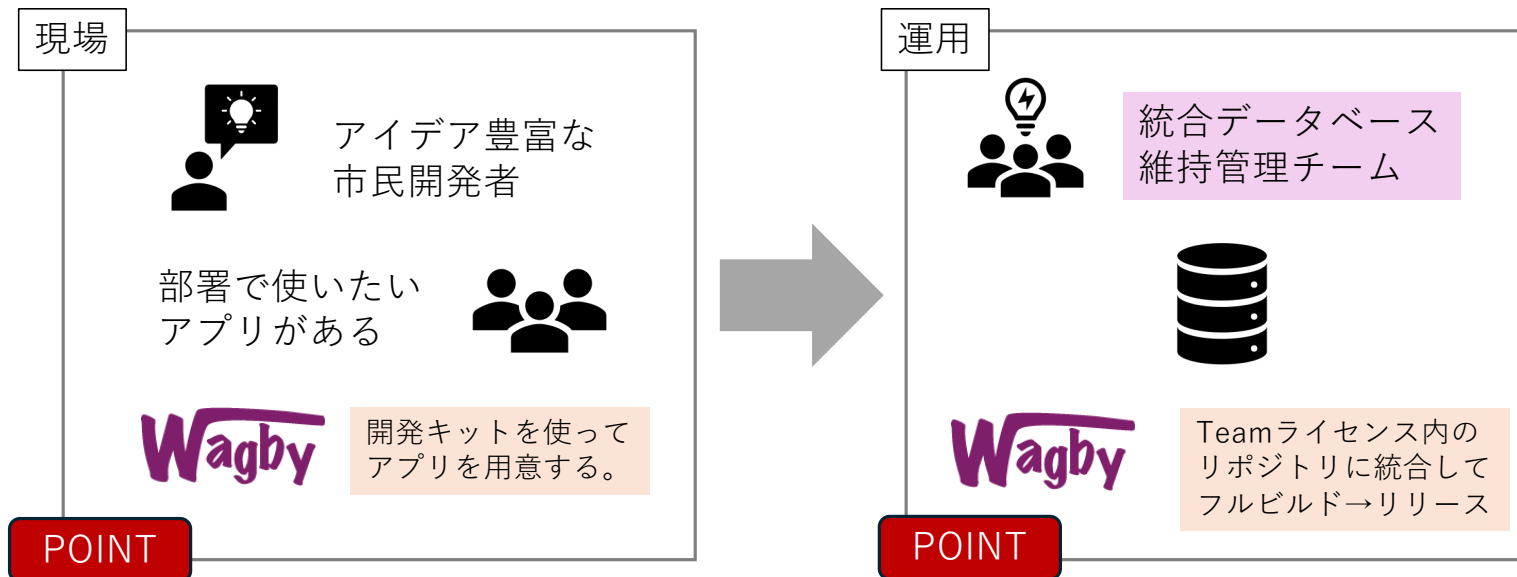


Wagby Standard Edition (SE)

統合データベース化を
念頭に、市民開発者との
バランスをとる。

クラウド版ではなく、
インストール版として
提供する。

Wagby SE 活用イメージ



1. 開発キットはいくつ配布してもよい。
2. 運用は行わない。
3. つくりきれなくてもよい。
(ブロックで実現できなかった部分)

1. 中心となるWagby+DBがある。
2. 現場のアプリを統一してリリースする。
3. 現場がつくりきれなかった部分を補填する。
(プログラミング言語を使っても良い)

既存のクラウドサービスとの違い

開発と運用を分離する。

現場が作成したモデルを「統合」したデータベースとして保守していく。

現場は作りっぱなし？ そのようにも見えるが、生きているデータを責任をもって保守するという観点では、このような運用が望ましいと考える組織があってもいい。

Wagby Enterprise Edition (EE)

- 現行の踏襲。不具合修正とセキュリティ対応を継続する。

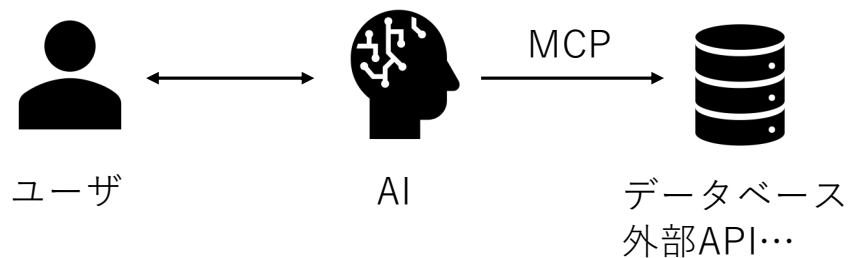
Wagby AI

- AI によるコード生成を行う、まったく新しい Wagby。
 - AIとのAPI契約が別途、必要。
- 最初の目標は REST API サーバかつMCPサーバ対応。
- Wagby SE/EE と併用する。
 - Wagby SE/EE の設計情報を読み込み、Wagby AI として（既存テーブルを）再利用する。

MCP (Model Context Protocol)


AIを“拡張するための共通インターフェース”。
人間でいえば、手足や目耳にあたる部分をAIに安全に提供する仕組み。

モデルと外部ツールをつなぐ『共通言語（プロトコル）』
JSON形式で、AIが外部データやAPIを呼び出す際の標準手順
AIが直接データベースやシステムにアクセスせず、安全に経由できる。



MCP関連の基本用語

MCP (Model Context Protocol)	AIが外部リソースにアクセスするための通信規約
Server / Tool	AIが呼び出す対象 (DB・API・外部システムなど) Wagbyアプリケーションが対応したい。
Client	AIモデル (例: ChatGPT)。リクエストを送る側
Context	AIがタスクを理解するための周辺情報 (履歴・意図など)
Capability	MCPサーバが提供できる操作や情報 (例: read_file, search_DB)
Safety Boundary	モデルが権限外の操作を行わないための安全枠



ルールベースのコード生成からAIへ

- これまで培ってきた（Wagbyの）設計情報を引き継ぐ。
 - 長期的には SE/EE が AI に収斂されていくことも視野に入れる。
-

価格体系

Wagby EE	従来通り（変更なし）
Wagby SE	クラウド版／インストール版ともに12月中に発表。
Wagby AI	Premium Support 契約者へ試験提供。 正式価格は未定。

AI 連携機能の紹介

ER図取り込み機能

ER図の取込機能

1. AIと会話し、テーブル定義をマーメイド形式で作成する。
2. 無料のビューアーでER図を確認できる。
3. Wagby に取り込み、すぐにアプリケーション化できる。

このマーメイド形式ファイルを「インポート」する。（現在、開発中の機能）

Wagby Designer

モデル

メニュー

環境

ビルド

運用

サポート

ログオフ

リポジトリ

アドオンギャラリー

その他

変更履歴

インポート

統計情報

開発環境

HTMLフォーム生成

パラメータ

アップロード

ファイルを選択

クリア

インポートを実行

#	種類	ファイル名	サイズ
1	MMD	erd3.mmd	5.4 kb

AI 連携機能の紹介

設計書出力機能

セミナーアプリケーションで試す

[ドキュメント](#)[価格](#)[Wagby EE](#)[コラム](#)[お問い合わせ](#)[無料トライアル](#)

セミナー

Wagbyに関するセミナーを定期開催しています。

Wagby EE 公式セミナー

チュートリアルとして公開している「販売管理」を題材としたセミナーです。

\ リニューアルしました！ /

Wagby EE 公式トレーニングコース

Wagby のポイントを効果的に学べる



- Wagby EE 認定トレーナーによる講義を行います。
- 前編で一日、後編で一日の、計二日間のセミナーです。前編のみの受講も可能です。
- どの実施企業様で受講しても価格は同一となっています。価格の詳細は直接、実施企業へお問い合わせください。
- この公式セミナーの内容が、Wagby EE 認定技術者試験（初級・中級）の範囲となっています。初級が前編

モデル一覧

種別: 全て ▼

ID:

名前:

説明:

No	ID	名前	種別	説明	テーブル
1	juser	アカウント	ストア		juser
2	JSHTAX	消費税率	ストア		JSHTAX
3	M_COMPANY	会社	ストア		M_COMPANY
4	M_CUSTOMER	顧客	ストア		M_CUSTOMER
5	M_CUSTOMER4S	得意先台帳	ストア		M_CUSTOMER4S
6	M_OFFICE	事業所	ストア		M_OFFICE
7	M_PRODUCT	販売商品	ストア		M_PRODUCT
8	O_BILLFIXEDPHRASE1	伝票摘要定型文	ストア		O_BILLFIXEDPHRASE1
9	O_BILLFIXEDPHRASE2	摘要種別	選択肢		O_BILLFIXEDPHRASE2
10	O_CLASSIFICATION4S	分類	ストア		O_CLASSIFICATION4S
11	T_QUOTATION	見積書	ストア		T_QUOTATION
12	T_SALESSLIP	売上伝票	ストア		T_SALESSLIP
13	jgroup	グループ	ストア		jgroup
14	jnews	お知らせ	ストア		jnews

[定数一覧](#) | [スクリプト一覧](#) | [用語集](#)

モデル一覧

種別: ストア ▾

種別による絞り込み

名前:

説明:

No	ID	名前	種別	説明	テーブル
1	juser	アカウント	ストア		juser
2	JSHTAX	消費税率	ストア		JSHTAX
3	M_COMPANY	会社	ストア		M_COMPANY
4	M_CUSTOMER	顧客	ストア		M_CUSTOMER
5	M_CUSTOMER4S	得意先台帳	ストア		M_CUSTOMER4S
6	M_OFFICE	事業所	ストア		M_OFFICE
7	M_PRODUCT	販売商品	ストア		M_PRODUCT
8	O_BILLFIXEDPHRASE1	伝票摘要定型文	ストア		O_BILLFIXEDPHRASE1
10	O_CLASSIFICATION4S	分類	ストア		O_CLASSIFICATION4S
11	T_QUOTATION	見積書	ストア		T_QUOTATION
12	T_SALESSLIP	売上伝票	ストア		T_SALESSLIP
13	jgroup	グループ	ストア		jgroup
14	jnews	お知らせ	ストア		jnews

[定数一覧](#) | [スクリプト一覧](#) | [用語集](#)

モデル一覧

文字列による絞り込み

IDの一部文字列で絞り込み

種別：

ストア

▼

ID：

M_

名前：

説明：

No	ID	名前	種別	説明	テーブル
3	M_COMPANY	会社	ストア		M_COMPANY
4	M_CUSTOMER	顧客	ストア		M_CUSTOMER
5	M_CUSTOMER4S	得意先台帳	ストア		M_CUSTOMER4S
6	M_OFFICE	事業所	ストア		M_OFFICE
7	M_PRODUCT	販売商品	ストア		M_PRODUCT

顧客

M_CUSTOMER [テーブル名 M_CUSTOMER]

表示列

高さ

No <div>▼</div>	項目ID <div>▼</div>	項目名 <div>▼</div>	画面表示名 <div>▼</div>	型 <div>▼</div>	検索 <div>▼</div>	一覧 <div>▼</div>	表示順 <div>▼</div>
1	CUSTOMERID	顧客ID	顧客ID	整数(4)	○(範囲)	○	1
2	NAME	氏名	氏名	文字	○	○	2
3	NAMEKANA	氏名かな	氏名かな	文字	○	○	3
4	EMAIL	電子メール	電子メール	メールアドレス	○	○	4
5	TEL	電話	電話	文字	○	○	
6	FAX	FAX	FAX	文字			
7	COMPANYID	会社ID	会社名	検索 (会社.会社ID)			
8	COMPANYNAME	会社名	会社名	参照連動 (会社.会社名)	○	○	
9	COMPANYNAMEKANA	会社名かな	会社名かな	参照連動 (会社.会社名かな)			
10	COMPANYTEL	電話	電話	参照連動 (会社.電話番号)			
11	COMPANYFAX	FAX	FAX	参照連動 (会社.FAX番号)			

[モデル一覧へ戻る](#)

顧客

M_CUSTOMER [テーブル名 M_CUSTOMER]

表示列

高さ

この部分だけ横スクロールする（項目IDと項目名はウィンドウ枠固定）

No	項目ID	項目名	検索	一覧	表示順	詳細画面	一覧画面	登録画面	更新画面	一覧更新
1	CUSTOMERID	顧客ID	○(範囲)	○	1		○		(読込専用)	
2	NAME	氏名	○	○	2	○	○	○	○	
3	NAMEKANA	氏名かな	○	○	3	○	○	○	○	
4	EMAIL	電子メール	○	○	4	○	○	○	○	
5	TEL	電話	○	○		○	○	○	○	
6	FAX	FAX				○		○	○	
7	COMPANYID	会社ID				○		○	○	
8	COMPANYNAME	会社名	○	○		○	○	(読込専用)	(読込専用)	
9	COMPANYNAMEKANA	会社名かな				○		(読込専用)	(読込専用)	
10	COMPANYTEL	電話				○		(読込専用)	(読込専用)	
11	COMPANYFAX	FAX				○		(読込専用)	(読込専用)	

見積書

T_QUOTATION [テーブル名 T_QUOTATION]

表示列

高さ

No ▼	項目ID ▼	項目名 ▼
1	ID	見積ID
2	QUOTATIONNO	見積番号表示（登録時計算）
3	QUOTATIONNOIN	見積番号（入力用）
4	BRANCHNO	枝番（計算用）
5	MAXBRANCHNO	最大枝番（隠し&絞込み）
6	DATE	見積日
7	CUSTOMERCODE	得意先
8	CUSTOMERNAME	ご担当者
9	CUSTOMERTRADEGROUP	取引区分
10	CUSTOMERTEL	TEL
11	CUSTOMERFAX	FAX

表示する列を選択

- ☒ 画面表示名
- ☒ 型
- ☒ 検索
- ☒ 一覧
- ☒ 表示順
- ☒ 詳細画面
- ☒ 一覧画面
- ☒ 登録画面
- ☒ 更新画面
- ☒ 一覧更新画面
- ☒ 必須
- ☒ 主キー
- ☒ 外部キー
- ☒ マッピング
- ☒ DB型
- ☒ 計算式
- ☒ 入力チェック
- ☒ 表示条件
- ☒ 更新条件
- ☒ 入力可条件
- ☒ 入力不可条件

すべてを選択

すべてを解除

キャンセル

OK

項目ID ▼	検索 ▼	一覧 ▼	表示順 ▼
数(4)		○	1
文字	○	○	
文字			
数(4)			
リスト(見積書.枝番(計算用))			
付	○(範囲)	○	
検索(得意先台帳.得意先コード)	○	○	
照連動(得意先台帳.担当者)		○	
照連動(得意先台帳.取引区分)		○	
照連動(得意先台帳.電話)			
照連動(得意先台帳.FAX)			

[モデル一覧へ戻る](#)

見積書

T_QUOTATION [テーブル名 T_QUOTATION]

表示列

高さ

No ▼	項目ID ▼	項目名 ▼
31	PRECORD/PCOSTWITHTAX	原単価（税込）
32	PRECORD/PCOST	原単価（隠し）
33	PRECORD/PPRICEWITHOUTTAX	単価（税抜）
34	PRECORD/PPRICEWITHTAX	単価（税込）
35	PRECORD/PPRICE	単価（隠し）
36	PRECORD/PAMOUNT	金額
37	PRECORD/PTAXRATE	税率（隠し）
38	TOTAL	合計
39	CREATEUSER	作成者
40	CREATEDATETIME	作成日
41	UPDATEUSER	更新者

表示する列を選択

- ☐ 画面表示名
- ☒ 型
- ☐ 検索
- ☐ 一覧
- ☐ 表示順
- ☐ 詳細画面
- ☐ 一覧画面
- ☐ 登録画面
- ☐ 更新画面
- ☐ 一覧更新画面
- ☐ 必須
- ☒ 主キー
- ☐ 外部キー
- ☐ マッピング
- ☐ DB型
- ☒ 計算式
- ☐ 入力チェック
- ☐ 表示条件
- ☐ 更新条件
- ☐ 入力可条件
- ☐ 入力不可条件

すべてを選択

すべてを解除

キャンセル

OK

	主キー ▼	計算式 ▼
税込).		
		IF({税転嫁}==1,{原単価（税込）},INT(ROUND
).		
).		
		IF({税転嫁}==1,{単価（税込）},INT(ROUND
		\${単価（隠し）}*{数量}
		SUM({金額})

[モデル一覧へ戻る](#)

見積書

T_QUOTATION [テーブル名 T_QUOTATION]

表示列

高さ

選択した列だけが表示される。

No	項目ID	項目名	型	主キー	計算式
31	PRECORD/PCOSTWITHTAX	原単価（税込）	参照連動（販売商品.売上原価（税込））		
32	PRECORD/PCOST	原単価（隠し）	整数(4)		IF({税転嫁}==1,{原単価（税込）},INT(ROUNDDO
33	PRECORD/PPRICEWITHOUTTAX	単価（税抜）	参照連動（販売商品.税抜き価格）		
34	PRECORD/PPRICEWITHTAX	単価（税込）	参照連動（販売商品.価格（税込））		
35	PRECORD/PPRICE	単価（隠し）	整数(4)		IF({税転嫁}==1,{単価（税込）},INT(ROUNDDO
36	PRECORD/PAMOUNT	金額	整数(4)		\${単価（隠し）}*\${数量}
37	PRECORD/PTAXRATE	税率（隠し）	参照連動（販売商品.税率）		
38	TOTAL	合計	整数(4)		SUM(\${金額})
39	CREATEUSER	作成者	文字		
40	CREATEDATETIME	作成日	日付時間		
41	UPDATEUSER	更新者	文字		

見積書

T_QUOTATION [テーブル名 T_QUOTATION]

表示列

高さ

No	項目ID	項目名	検索	一覧	必須
1	ID	見積ID		○	○
2	QUOTATIONNO	見積番号表示（登録時計算）	○	○	
3	QUOTATIONNOIN	見積番号（入力用）			○
4	BRANCHNO				
5	MAXBRANCHNO				
6	DATE		○(範囲)	○	
7	CUSTOMERCODE		○	○	
8	CUSTOMERNAME			○	
9	CUSTOMERTRADEGROUP	取引区分		○	
10	CUSTOMERTEL	TEL			
11	CUSTOMERFAX	FAX			

一覧のフィルター

☒ (空白)
☒ ○

すべて

すべて解除

キャンセル

OK

Excelのようなフィルタ機能を提供

見積書

T_QUOTATION [テーブル名 T_QUOTATION]

表示列

高さ

「○」の行だけに絞り込んだ例

No <input type="checkbox"/>	項目ID <input type="checkbox"/>	項目名 <input type="checkbox"/>	検索 <input type="checkbox"/>	一覧 <input type="checkbox"/>	必須 <input type="checkbox"/>
1	ID	見積ID		○	○
2	QUOTATIONNO	見積番号表示（登録時計算）	○	○	
6	DATE	見積日	○(範囲)	○	
7	CUSTOMERCODE	得意先	○	○	
8	CUSTOMERNAME	ご担当者		○	
9	CUSTOMERTRADEGROUP	取引区分		○	
12	CUSTOMERTAXSHIFTING	税転嫁		○	
14	TITLE	件名		○	
16	DELIVERYPERIOD	納入期限		○	
22	SALESPERSON	担当者		○	
38	TOTAL	合計		○	

見積書

T_QUOTATION [テーブル名 T_QUOTATION]

表示列

高さ

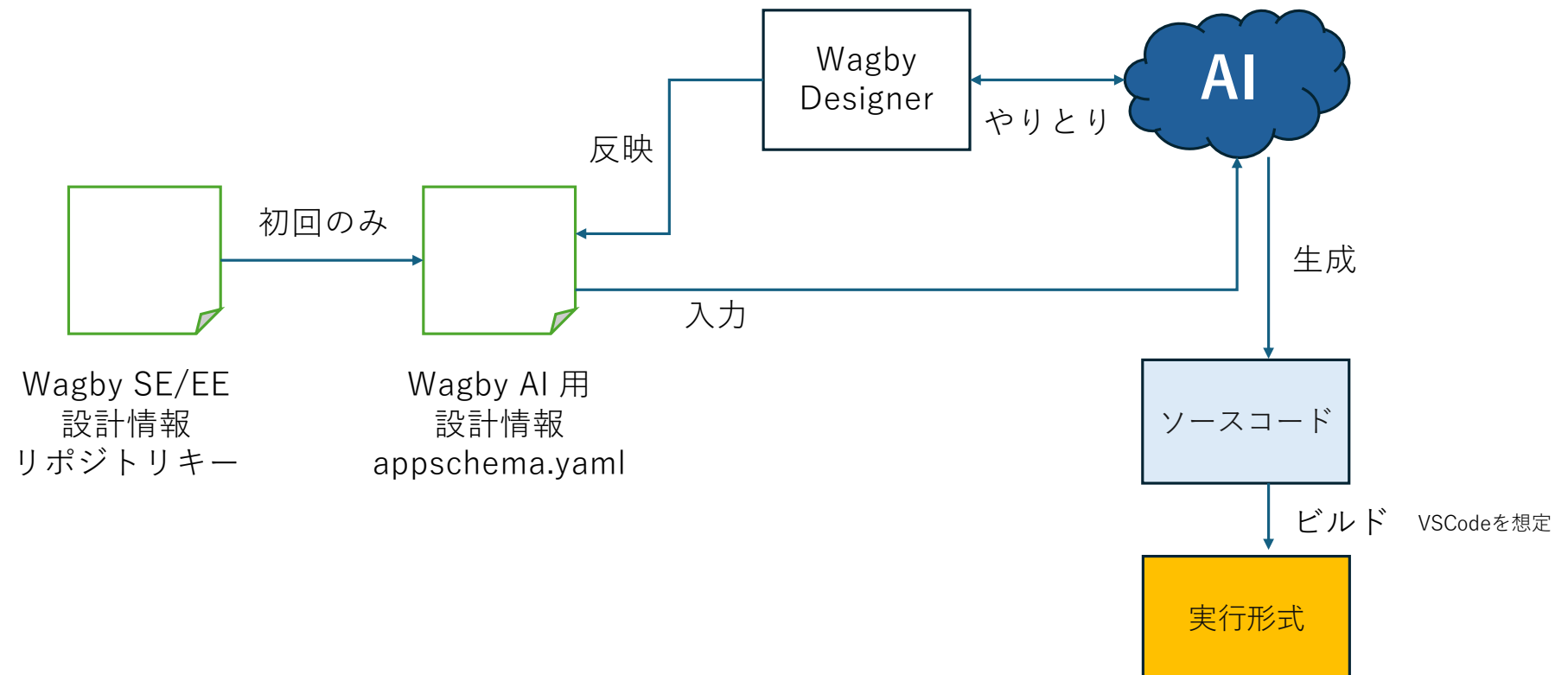
No	項目ID	検索 項目名	計算式	式はできるだけ日本語項目名で表現
32	PRECORD/PCOST	原単価 (隠し)	IF({税転嫁}=1,{原単価 (税込)},INT(ROUNDDOWN(TODOUBLE(ADD({原単価 (税抜)},MUL({原単価 (税抜)},{{税率	
35	PRECORD/PPRICE	単価 (隠し)	IF({税転嫁}=1,{単価 (税込)},INT(ROUNDDOWN(TODOUBLE(ADD({単価 (税抜)},MUL({単価 (税抜)},{{税率 (隠し)	
36	PRECORD/PAMOUNT	金額	{単価 (隠し)}*{数量}	
38	TOTAL	合計	SUM({金額})	

AI との連携（対応中）

- AIと連携し、既存の式とスクリプト、Javaコードから「説明文」を生成する機能を用意する。
 - 別途、いずれかのAIとの「API契約」が必要。
- AI連携機能は、Premium Support 契約者に提供する。

Wagby AI

動作イメージ



Wagby AI ロードマップ

- 2026年上半期に最初のバージョンをリリース
 - REST API サーバ対応（v3相当）
 - MCPサーバ対応
 - MCPクライアントから利用できる。
- 2026年内に UI 対応版をリリース
 - React にするか別フレームワークにするか検討中。
- SE/EEと併用できる
 - 現行サービスの MCP サーバ化として Wagby AI を利用できる。

まとめ

AI中心へのシフトを開始します

人間とAIの両方で把握できる設計情報を整備する。

- appschema.yaml

従来のWagbyが行ってきたコード生成をAIに代替させる。

- ルールベースで生成できるコードは従来通り残すこともある。（コスト削減と安定性の強化）
- VSCodeなどのエディタとの親和性を高める。

SE/EEの機能をAIによって再実装していく。

- まったく同じではないため、SE/EEは残す。